

自ら未来を切り拓く児童を育成する特別活動

I 研究の目的

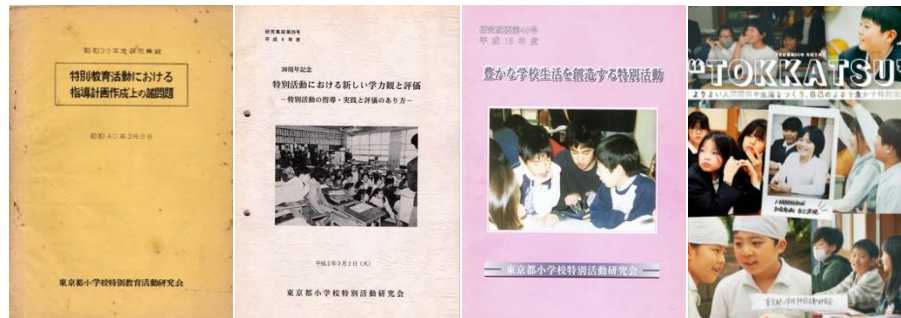
1 特別活動の指導方法の研究

本研究会は、東京都教育委員会の研究推進団体として、昭和37年の設立以来、特別活動の研究・発展に努めてきた。

学級活動部、児童会活動部、クラブ活動部、学校行事部の4研究部会で構成され、それぞれの研究部会ごとに研究授業を行い、より質の高い、実践的な特別活動の授業のあり方を追究し、その成果を研究発表大会や研究紀要で発信してきた。

2 特別活動のよさを広める

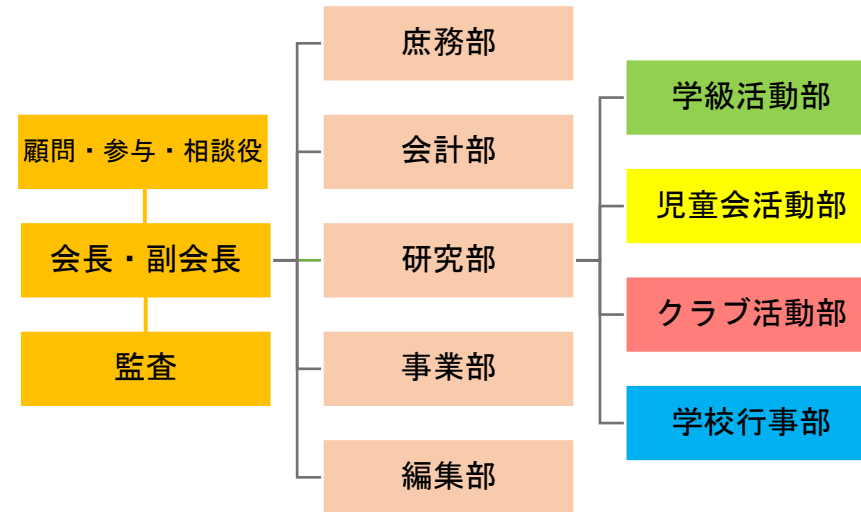
本会は、その時代の要請に即した特別活動の指導方法を東京都の教員に示し、そのよさを広めてきた。本会の歩みは、昭和39年度の第1号発行以来、毎年発刊している研究紀要に記されている。本会ホームページ (<https://tosho-tokkatsu.tokyo>) より、第1号以降の研究紀要(欠号あり)を閲覧・ダウンロードできる。



第1号 昭和39年度 第30号 平成5年度 第40号 平成15年度 第60号 令和5年度

II 研究の方法

1 研究組織 部員は有志の東京都の小学校教員で構成されている。



2 研究授業による検証

本研究会の特色は、4つの研究部会（学級活動部・児童会活動部・クラブ活動部・学校行事部）が、共通の研究主題のもと、仮説・主題に迫る手だてを「研究授業」を通して検証し、その成果・課題を次年度の研究につなぐ形で積み重ねてきたことにある。

今年度は、新しい研究主題で研究を始めた1年目である。各研究部ごとに、新しい研究主題を読み込み、「目指す児童像」「研究の視点」等を設定して、有効な手だてについて授業を通して検証を重ねている。

Ⅲ 研究の内容

1 研究主題

自ら未来を切り拓く児童を育成する特別活動

2 主題設定について

不安定で不確実な時代(VUCA時代)を、児童がたくましく生き抜くための力は、特別活動が育成を目指す力と重なる。

そこで、新しい研究主題は、児童の実態、社会背景、社会の要請や、これまで積み上げてきた研究成果を土台にして設定した。

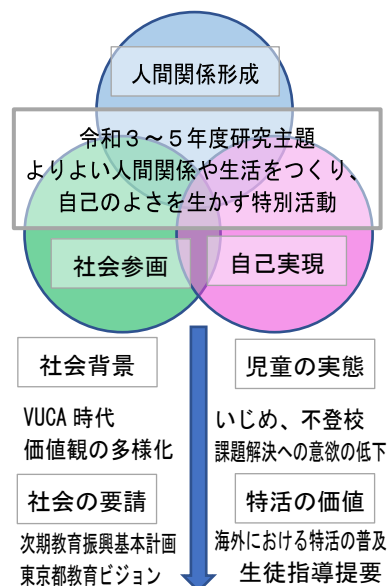
「自ら^①未来^②を切り拓く^③

児童を育成する特別活動」

①自ら…自分や自分たちで課題を見付け、解決しようとする意欲や主体性・協働性を発揮して課題解決に向かう態度。

②未来…持続可能な未来、ウェルビーイングの向上した未来。

③切り拓く…前例にとらわれず、主体的に考え、協働して課題解決を図り、課題解決に向けて、強い意思をもち、諦めずに挑戦を続ける姿。



社会背景

VUCA時代
価値観の多様化

社会の要請

次期教育振興基本計画
東京都教育ビジョン

児童の実態

いじめ、不登校
課題解決への意欲の低下

特活の価値

海外における特活の普及
生徒指導提要

令和6年度研究主題
「自ら未来を切り拓く
児童を育成する特別活動」

3 研究計画

令和6年度(今年度)…理論構築・研究仮説に基づく授業実践

令和7年度…研究仮説・研究の視点・手だての検証・追究のための授業実践

令和8年度…3年間の研究における成果と課題を集約し、汎用性・再現性のある手だてを提案

Ⅳ 成果と課題

1 成果

- 新しい研究主題の捉え方について、4研究部で共通理解を図ることができた。
- 各研究部で、新しい研究主題を読み込み、「目指す児童像」「研究の視点」等を作成し、研究授業を通して検証することができた。改めて、各部の活動の特性を見直すことができた。
- 研究主題が変わっても、特別活動が育成を目指す力は、人間関係形成・社会参画・自己実現の3つの視点を手掛かりに手だてを講じることは同じであることが分かった。

2 課題

- 新しい研究主題に迫る手だては、これまでの研究で積み重ねた成果に加え、新しい研究主題の捉え方の視点(主体性・持続可能な未来・諦めずに取り組む態度等)でも整理し、その有用性を検証していく。
- 誰もが取り組みやすく、成果を上げることができる、より一般化・汎用性のある手だての提案を目指して研究を進めていく。

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都小学校特別活動研究会
代表者	所属	国分寺市立第一小学校
	職氏名	校長 出町 桜一郎
	連絡先	042-322-0041
事務局	所属	大田区立おなづか小学校
	職氏名	校長 酒井 敬子
	連絡先	03-3753-2615
団体ホームページ	URL	https://tosho-tokatsu.tokyo
	二次元コード	